

しあわせのかぎ

アムナ・スリマン

すこしまえ、しょうせつを よみました。このしょうせつは ある おとこのひと についての しょうせつです。かれは おかねが あります。けっこんしています。とても げんきです。かれは これらを しあわせだと おもいました。でも、かれは もっともっと ほしいと おもっています。だから、しあわせじゃ ありませんでした。さいごは、とても こうかいします。ほんどうのしあわせのいみを しりたいと おもっています。

まえは わたしも おなじでした。たくさんのおかね、たべもの、くるま、ふく、すてきなけしょう、きれいなほうせきを もっていることが しあわせだと おもっていました。でも、わたしは このほんをよんで、ほんどうの しあわせが わかりました。これらのものは しあわせじゃない、しあわせは これらのものより おおきいです。ことばでは いいあらわすことが できない ものです。

みなさんは、どうおもいますか。

わたしは たくさん じぶんに ききました。しあわせのかぎは なんですかと…。

わたしは みなさんに いたたいです。しあわせのかぎは ありません。しあわせのドアは もうあいています。ゆうきと きぼうがあったら、そのドアを とおることができます。

あなたは ゆうきと きぼうが ありますか。そのドアに さいしょのいっぽを ふみだしてください。そして、しあわせの チャンスは じぶんで つくるものです。だから、あきらめないでください。

ごせいちょうありがとうございました。